

市民タイムス

総合・経済

(第3種郵便物認可)

信大理学部と松本秀峰

「理系」育成へ連携協定

信州大学 理学部
連携協定調印式
松本秀峰中等教育学校



信州大学理学部（松本市旭3）と松本秀峰中等教育学校（同市埋橋2）は15日、教育に関する包括的な連携協定を結んだ。松本秀峰は3年間で、両者の合意があれば更新する。松本秀峰は、平成22年に信大人文学部と連携協定を結び、英語の授業やクラブ活動を通して交流している。理学部との連携で理科と数学の学習に力を入れ、子供の理系離れをなくすことを目指す。

大学側の授業は、秀峰にはない専門的な実験器具を使って発展的な内容を教える。秀峰の教諭の授業に助教や協定書を交わす小宮山学校長（右）と武田理学部長

は3年間で、両者の合意があれば更新する。松本秀峰は、平成22年に信大人文学部と連携協定を結び、英語の授業やクラブ活動を通して交流している。理学部との連携で理科と数学の学習に力を入れ、子供の理系離れをなくすことを目指す。

学生が「先生」として加わり、生徒に綿密な指導ができる環境を整える。調印式は理学部で開かれ、武田三男理学部長は「自然科学の面白さを中高生に伝えたい。子供に理科を好きにさせるような教員の教育にも力を入れた」と述べた。秀峰の小宮山淳校長は「理学部は個性的で国際レベルの研究を推進している。交流を密にして理系教育にも力を入れれば、理系の人材が育つと思う」と期待した。（石川鮎美）